

第111回エイズ動向委員会の結果報告について

1 本日の委員会では、平成19年7月2日から9月30日までの感染症法に基づく患者・感染者報告並びに、平成19年7月から9月末までの病変報告（任意報告）を解析した。

2 今回報告された新規エイズ患者数（以下患者）は114件（前回110件、以下同じ）、新規HIV感染者数（以下感染者）は274（270）件であった。

（1）感染経路別

異性間の性的接触による患者48（38）件、感染者47（54）件、同性間の性的接触による患者43（45）件、感染者183（182）件、静注薬物濫用による感染者1（0）件、その他の原因による患者2（4）件、感染者8（3）件、原因不明の患者21（21）件、感染者35（31）件であった。

（2）性別

男性患者101（103）件、感染者254（251）件、女性患者13（7）件、感染者20（19）件であった。

（3）年齢別

患者は20代18（7）件、30代46（35）件、40代25（31）件、50歳以上25（37）件、感染者は10代5（1）件、20代82（83）件、30代103（123）件、40代53（38）件、50歳以上29（25）件であった。

（4）国籍別

日本人患者99（97）件、感染者249（245）件、外国人患者15（13）件、感染者25（25）件であった。

（5）感染地域別

国内で感染した患者94（87）件、感染者242（252）件、海外で感染した患者16（16）件、感染者19（14）件、感染地域不明患者4（7）件、感染者13（4）件であった。

（6）性的接触別、国籍別内訳

ア．異性間性的接触の内訳

患者48（38）件、感染者47（54）件のうち日本人男性は、患者35（30）件、感染者33（40）件、日本人女性は、患者2（2）件、感染者9（7）件であった。

外国人男性は、患者3（5）件、感染者3（2）件、外国人女性は、患者8（1）件、感染者2（5）件であった。

イ．同性間性的接触の内訳

患者 43 (45) 件、感染者 182 (182) 件のうち日本人男性は、患者 41 (43) 件、感染者 174 (175) 件であった。

外国人男性は、患者 2 (2) 件、感染者 8 (7) 件であった。

(7) 国籍別、年齢別内訳

ア．日本人男性年齢別内訳

患者 95 (92) 件のうち 20 代 15 (7) 件、30 代 36 (30) 件、40 代 21 (23) 件、50 歳以上 23 (32) 件であった。

感染者 235 (237) 件のうち、10 代 4 (1) 件、20 代 70 (72) 件、30 代 88 (111) 件、40 代 48 (31) 件、50 歳以上 24 (22) 件、不明 1 件であった。

イ．日本人女性年齢別内訳

患者 4 (5) 件のうち、20 代 1 (0) 件、40 歳代 1 (1) 件、50 歳以上 2 (4) 件であった。

感染者 14 (8) 件のうち、20 代 5 (3) 件、30 代 5 (3) 件、40 代 1 (1) 件、50 歳以上 3 (1) 件であった。

ウ．外国人男性年齢別内訳

患者 6 (11) 件のうち、20 代 1 (0) 件、30 代 3 (5) 件、40 代 2 (5) 件、50 歳以上 0 (1) 件であった。

感染者 19 (14) 件のうち、10 代 1 (0) 件、20 代 5 (3) 件、30 代 8 (5) 件、40 代 2 (4) 件、50 歳以上 2 (2) 件、不明 1 (0) 件であった。

エ．外国人女性年齢別内訳

患者 9 (2) 件のうち、20 代 1 (0) 件、30 代 7 (0) 件、40 代 1 (2) 件であった。
感染者 6 (11) 件のうち、20 代 2 (5) 件、30 代 2 (4) 件、40 代 2 (2) 件であった。

(8) 感染地域別、国籍別内訳

ア．国内感染

患者 94 (87) 件のうち日本人男性が 83 (77) 件、日本人女性が 2 (4) 件外国人男性が 4 (4) 件、外国人女性が 5 (2) 件であった。

感染者 242 (252) 件のうち日本人男性が 216 (228) 件、日本人女性が 10 (7) 件、外国人男性が 14 (10) 件、外国人女性が 2 (7) 件であった。

イ．海外感染

患者 16 (16) 件のうち日本人男性が 8 (9) 件、日本人女性が 2 (1) 件、外国人男性が 2 (6) 件、外国人女性 4 (0) 件であった。

感染者 19 (14) 件のうち日本人男性が 11 (6) 件、日本人女性が 3 (0) 件、外国人男性が 3 (4) 件、外国人女性が 2 (4) 件であった。

3 任意報告より

(1) キャリア等からエイズ患者になったとの報告は 6 (3) 件であった。

(2) 患者・感染者の死亡は、A I D S が原因は 2 (6) 件、それ以外は 2 (3) 件であった。

4 検査・相談件数

平成 19 年 7 月から 9 月末までの保健所等における HIV 抗体検査件数は 37,839 (37,143) 件、うち自治体を実施する保健所以外の検査件数は 6,544 (7,029) 件、保健所における相談件数は 50,776 (51,988) 件であった。

5 献血による HIV 陽性件数

平成 19 年 1 月から 9 月末までの献血件数 3,684,823 件 (速報値) のうち、HIV 陽性件数は 73 件であった。